

不適合情報

2021年5月20日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	海水熱交換器建屋地下中1階(非管理区域)、原子炉補機冷却海水系ポンプ(C)軸受部ドレン排水配管の詰まりにより、排水(海水)が床面に滴下していることを確認した。拭き取り実施済み。当該配管を点検・清掃。	2021/05/17	
2	4号機	原子炉建屋最上階(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員(1名)の退域時、 γ ・ β 線用警報付きポケット線量計に γ 線(158.77mSv)が記録されていることを確認した。作業エリアの雰囲気線量は0.012mSv/hで、同一作業に従事した作業員の線量計計測値も0.00mSvであったため、線量計の異常と判断。当該線量計の使用を禁止。当該事象の原因を調査および当該作業員の線量を評価。	2021/05/14	
3	6号機	原子炉補機冷却系熱交換器用伝熱管の調達時、購入要求仕様をJIS規格品としていたが、製作メーカー都合によりJIS認証が一時的に停止された。そのため材料検査成績書でJIS規格相当品であることを当社および受注者の相互で確認し納品を受け検収を行ったが、当社の仕様書を改訂していなかったことを確認した。当該購入品の使用について影響評価を実施。	2021/05/13	
4	6号機	非常用ディーゼル発電機(C)の燃料油ドレンポンプの自動起動時、ドレンタンク油面高の警報の発生を確認した。通常はポンプ起動後、油面が低下し警報発生はしないが、現場で油面低下を確認できたことから、油面計の動作不良と推測。油面低下にともない警報リセットを実施。当該計器を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2021/05/17	
5	その他	発電所構内巡回バスからの降車時、着地面の段差に気付かず右足首を捻り負傷した。当日は痛みは続かなかったが、翌日に右足首が腫れていたことから病院にて診断を受けたところ、右足関節外側靭帯損傷と診断された。当該事象を発電所内に周知し注意喚起。	2021/05/14	